

学校教育目標
 ○よく考える子 ○元気な子 ○助け合う子

児童の実態

- ・失敗を恐れ、自信の無い児童が多い。
- ・自己肯定感が低い。
- ・学習の個人差が大きい。
- ・友達の意見を繋げて深めていくことが難しい。自分が優先になってしまう。



認め合う・学び合う集団とは…

- ・望ましい人間関係を構築することができる。
- ・落ち着いて学習に取り組むことができる。
- ・自分の考えを表現し、友達の話を聞くことができる。

研究主題
 みんなで育つ みんなが伸びる つくし野の子
 ～認め合う・学び合う集団の形成を通して～

目指す児童像

- 落ち着いて学習に取り組むことができる児童。
- 自分の考えを表現することができる児童。
- 友達の考えに興味をもち、受け止めることのできる児童。

研究仮説

- ①みんなが学習ルールを守る安心安全な教室環境を整えることで、落ち着いて学習に取り組み、自分の考えを表現することができるだろう。
- ②自己肯定感を高めることで、自分の考えを表現し、友達の考えを受け止めることができるだろう。
- ③小集団（グループ・ペア）活動を行うことで、安心して友達とかかわることができるだろう。



分科会ごとの具体的な取り組み			
低学年分科会	中学年分科会	高学年分科会	サポートルーム分科会
<ul style="list-style-type: none"> ◆グループワーク ◆ききかた名人 「あいうえお」 ◆教室の掲示物を整理統一 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループワーク ◆振り返りの活用 ◆聞き方ルールの徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ◆2段階のグループワーク（考える、いかす） ◆キーワードバンク ◆学習活動に合ったツールの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆グループワーク ◆聞き方ルールの徹底 ◆意見を伝える場の設定 ◆表情カードの活用
学校全体での取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ◆全校で統一したハンドサインの活用。 			